

# 総合融資支援システム BANK・Rのご紹介

株式会社 電通国際情報サービス  
金融ソリューション事業部

# BANK・Rソリューションの足跡



みずほ情報総研と  
共同開発



融資業務総合ソリューションとして多くの金融機関様へ導入実績があります

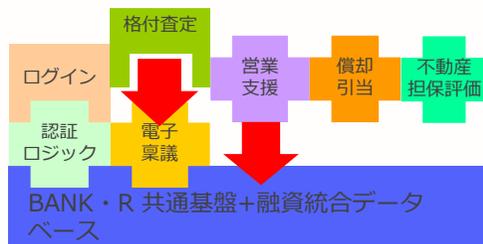
# BANK・Rソリューションの進化

2002年より地域金融機関様の業務効率化、信用リスク管理高度化、その結果として地域社会の活性化に繋がるよう、融資分野におけるパッケージシステムの開発および導入を実施して参りました。BANK・Rシステムについては、2019年12月現在、50以上の地域金融機関様よりご評価を頂戴し、日々お客様の課題解決に向けパッケージの更なる機能改善やUI刷新、ご要望への対応を進めております。



コンセプト ▶

スモールスタート



開発共通基盤に、各業務単位の機能を積み上げていくことで、スモールスタートを可能としました。

UI刷新



最新パッケージでは、ユーザ目線にこだわった画面デザインを採用しております。システム利用促進/定着化に寄与することで、システム投資対効果を極大化します。

# BANK・Rの特長

## 1. 融資業務全般をカバーできるシステム

BANK・Rは、融資統合データベースを中核に融資業務全般をカバーする製品ラインナップを提供しております。

渉外活動～案件管理～稟議書作成、信用格付申請～自己査定～償却引当、といった融資業務に関する一連のフローをBANK・Rの統一プラットフォームにおいて、一貫して管理することが可能です。また、新BIS対応や信用リスク計測も含め、モジュール間でシームレスな情報連携を行っており、業務の効率化および堅確化を図ることができます。

## 2. 豊富な導入実績

BANK・Rは、80以上の金融機関様で御利用いただいております。他金融機関様の導入/運用事例を提供することが可能です。

また、他金融機関様への導入で培ったノウハウもとに、業務そのものや、他システムとの連携等、課題解決実現を支援いたします。

## 3. 将来発展拡張

BANK・Rは、柔軟な拡張性をコンセプトにしており、システムのご利用状況や効率化に向けた検討状況等に応じて、段階的に機能を拡張していくことが可能です。

## 4. システム利用定着化に向けた取り組み

BANK・Rの導入では、業務に精通したメンバーが導入作業を担当することにより、堅確なプロジェクト遂行を実現いたします。また、システムの定着化に向け、他金融機関様の事例やノウハウをご提供いたします。

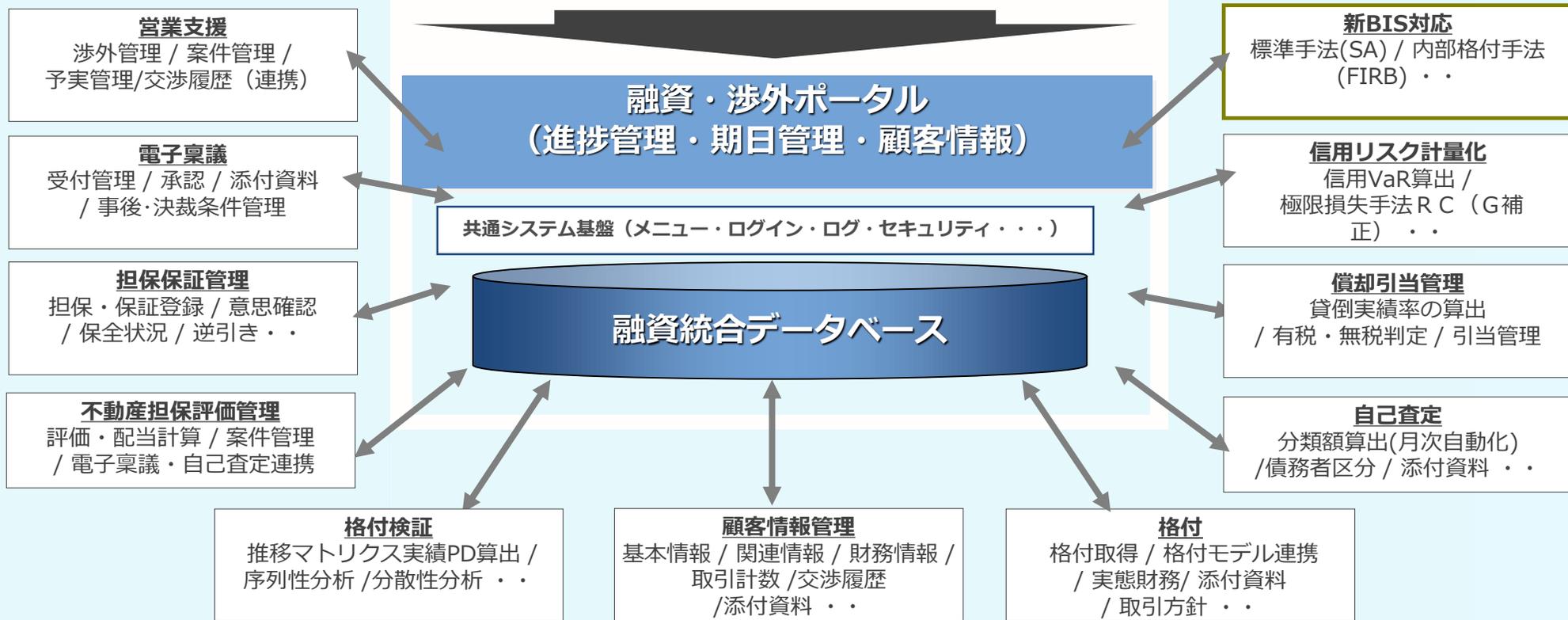
## 5. 実績から導かれた機能と柔軟なカスタマイズ対応

BANK・Rは、多くの導入経験を活かし、必要とされる機能をパッケージ化、オプション化しております。また、金融機関様の良き文化や業務をシステム導入後も継続できるよう、柔軟なカスタマイズにも対応できます。

# BANK・Rの特長 1 : 融資業務全般をカバーできるシステム

BANK・Rシステムは、融資業務全般をカバーできる業務横断のシステムとしてパッケージ化をしております。統一されたプラットフォーム上に融資関連業務を取りまとめることができる完成されたパッケージ製品として金融機関様より高い評価を頂戴しております。また、昨今の対応事例といたしまして、事業性評価に関する対応や、金融仲介機能のベンチマーク関連の基礎データの抽出対応等もあります。

## 勘定系システム／財務情報管理システム／他サブシステム



## BANK・Rの特長2：豊富な導入実績

地方銀行・第二地方銀行・大手信用金庫を中心に50以上の金融機関様でご利用いただいております。  
導入実績に裏打ちされた「品質」および「成果（満足度）」をお約束いたします。



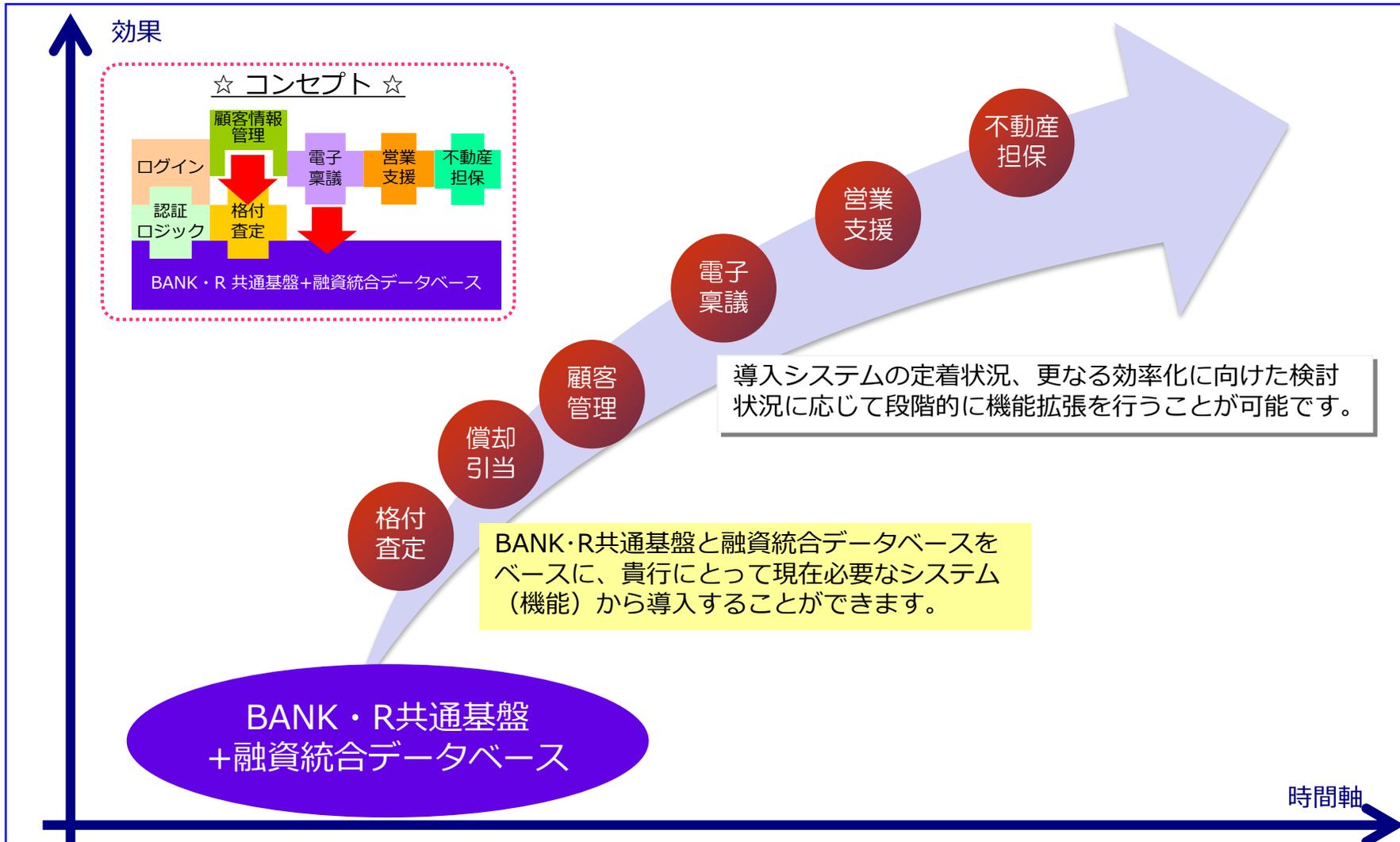
融資領域を中心としたソリューションを対象に、  
弊社の導入実績数に基づいております

### 弊社導入実績数

格付自己査定システム	38 金融機関
電子稟議システム	16 金融機関
顧客情報管理システム	21 金融機関
営業支援システム	10 金融機関
担保保証/不動産担保評価システム	12 金融機関
償却引当システム	16 金融機関
新BIS対応システム	33 金融機関
信用リスク計量化システム	11 金融機関
コミュニケーション基盤	4 金融機関

# BANK・Rの特長3：将来発展拡張

## BANK・Rの拡張性（段階的な機能拡張）



## BANK・Rの特長4：システム利用定着化に向けた取り組み

スムーズなシステム立上を実現するためには、本番稼働前の事前準備が重要となります。弊社では、これまでの多数の導入実績を活かし、本番稼働前のテストフェーズをサポートいたします。また、本番稼働後もシステム利用の定着化に向け、本番稼働前と変わらぬサポートを実施いたします。

### テストフェーズ（本番稼働前）

①受入テスト  
（本部）

②営業店研修  
（本部・営業店）

貴行の受入テストや研修に向け、他行事例やノウハウをご提供いたします。

### 本番稼働

本格利用

③定期研修等教育

④定着  
（効果測定・改善）

システム定着化に向け、他行事例やノウハウをご提供いたします。

# BANK・Rの導入効果／導入事例

## 経営戦略に整合したIT投資（システム導入）を実現する2つのポイント

### ポイント①：高品質の導入／保守を通じた年間保守費用の低減

BANK・Rは**完成した高品質のパッケージ製品であり、安定した利用環境を提供**いたします。  
なおかつ、多くのユーザ様にシステムを導入をさせていただいており、皆様に支えられることによって、サービスレベルの高い保守サポートを維持しております。  
多くのユーザ様に支えられていることにより、**年間保守費用の低減**に繋げることが可能です。

### ポイント②：個別要件へのスピーディかつ柔軟な対応

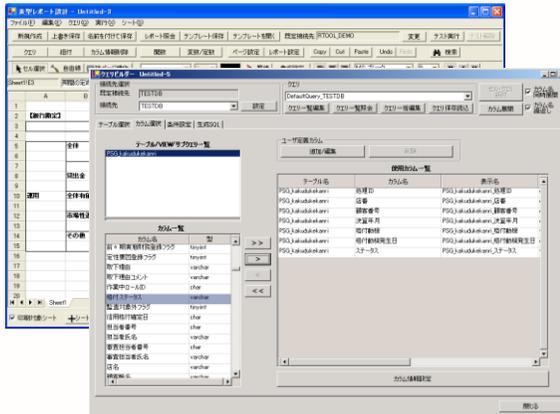
BANK・Rは、金融機関様ごとに異なる要件に対して、**多くの機能において設定定義により対応することが可能**です。これにより、**カスタマイズ費用を抑制**することができます。  
その上で豊富な導入実績に裏打ちされた、**柔軟なカスタマイズ対応に可能なパッケージ製品でもあり、個別の要件の組み込みが可能**です。  
※稼動後の利用状況に鑑み、随時レベルアップ対応を行う金融機関様もございます。  
他金融機関事例の紹介など、情報提供も適宜行っております。



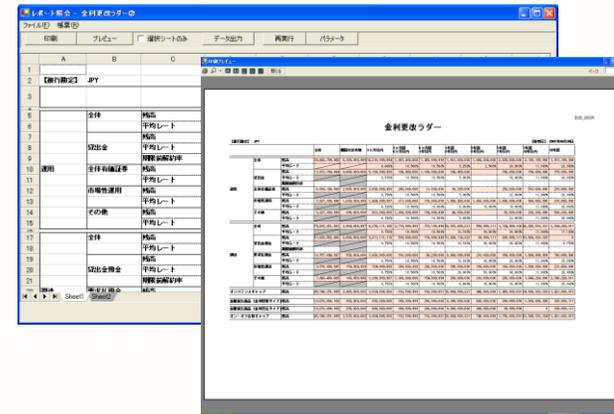
# BANK・Rの主要機能 : BANK・R専用レポートディングツール RTOOL

日々の業務を通じ、融資統合データベースに蓄積された情報は、BANK・R専用のレポートディングツール RTOOL（アールツール）の利用により、様々な切り口での分析、活用が可能です。行内や当局向けの報告や、リスク管理のための資料作成も、プログラム開発をせずに金融機関様にて正確かつ容易に作成できます。

## レポート設計画面



## 照会/プレビュー画面



ユーザ金融機関の 利用事例	融資稟議	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 担当者/営業店ごとの稟議起案状況、権限階層/決裁権限ごとの承認件数、所要日数の確認</li> <li>- 差戻回数・比率/差戻理由による差戻状況モニタリング</li> <li>- 未補完条件・指示の進捗管理</li> <li>- 条件変更に関わる受付件数、金額、ステータス、取下・謝絶件数など報告事項収集 など</li> </ul>
	営業案件管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 担当者/営業店/エリアごとの訪問件数および案件情報の登録比率集計リスト</li> <li>- 過去分を含めた年度/半期ごとの目標および実績計数の一覧化</li> <li>- 貸出残高および当行シェアの大幅な変動先に対する相関分析（格付変動、担当者移動等）</li> <li>- キャンペーン商品に関する店舗ごとの日次積み上げ状況モニタリング 等</li> </ul>
	営業推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 預金残高、業種、債務者区分などの条件から新規セールス対象先リスト作成</li> <li>- 主債務者に与信取引がある非与信関連会社の抽出</li> <li>- 特定のワードが記載されている営業店交渉記録を抽出し活動支援</li> <li>- 訪問予定、有効訪問、交渉内容の集計による活動状況モニタリング 等</li> </ul>

# BANK・Rの主要機能：BANK・R営業支援

業務推進を行う上でノウハウ共有・情報共有は非常に重要な要素です。しかしながら多忙な営業活動の中では情報は暗黙知とされ有益な情報を蓄積していくことは容易ではありません。BANK・Rでは、営業現場が抱えている「効率化」と「業務推進」の双方の課題を解決し、組織としての営業力の強化を通して全体の営業パフォーマンスの底上げを実現します。



## シンプルな入力画面

- ・忙しい融資・渉外担当者を考慮し、「入力・参照のしやすさ」などベーシックな機能の使いやすさを追求
- ・日常業務としての訪問計画作成や日誌報告などの定型業務をできるだけ簡易かつモシなく行える機能

👉 **業務の効率化**

## 「ノートの代わり」を目指す

- ・現場や管理者がノートの代わりに使いたいと思う、行員にとっての「勘どころ」を追求
- ・渉外の担当者が日々の活動の中で発生する情報を共有
- ・営業推進・与信管理の両面から活用できる機能と情報参照を行いやすい操作性

👉 **顧客・営業情報の蓄積**

## 営業プロセスの「見える化」

- ・担当と管理者、本部の「コミュニケーションツール」としてのSFAを追求
- ・「誰が」「いつ」「どの顧客に」「どの程度の頻度で」「何のために営業し」「その結果がどうだったか」を関係者が見える機能
- ・ネタ情報の進捗状況を一元管理。効率的な訪問計画の策定や、顧客との交渉プロセスをサポート

👉 **組織営業力の強化**

# BANK・Rの主要機能：BANK・R電子稟議

融資稟議作成および回付、管理業務に関わるコストおよび事務負担を軽減し、より渉外活動など案件発掘に注力できる環境を整えます。

導入目的

- ◆ 自分が見るべき稟議の一覧化
- ◆ 融資事務等の期日管理一覧化
- ◆ 申込情報、否認・取下情報の登録
- ◆ 稟議書添付書類、必須作業の一覧化

融資業務  
標準化

- ◆ 電子ワークフロー機能による物流廃止（回付、承認、最終承認、承認確認、否認、取下）
- ◆ 本部・営業店で同一画面・同一情報閲覧による稟議内容の指示
- ◆ 稟議進捗状況の一覧化（進捗状況照会）

審査スピード  
向上

- ◆ 事前協議書を元に稟議書を作成（事前稟議情報のコピー利用）
- ◆ 条件変更稟議・継続案件は前回稟議を元に作成（過去稟議情報を再利用）
- ◆ 稟議書等のテンプレートダウンロード
- ◆ 形式に捉われない稟議書の作成（汎用稟議）

融資業務  
省力化

融資関連  
データ蓄積  
一元管理

- ◆ 過去稟議情報の蓄積、検索
- ◆ 交渉情報の登録、随時閲覧
- ◆ 稟議に紐付く条件・指示事項一覧化（条件指示管理）
- ◆ 稟議内容と実行内容の突合
- ◆ 稟議起案・承認作業時の顧客情報随時閲覧

## 融資業務標準化

- ・ 稟議起案前から審査役が案件を見てアドバイスがもらえた
- ・ 部下が実施すべき事務期日が一覧把握可能となった
- ・ 添付すべき資料がわかり無駄な手戻りが無くなった

## 融資業務省力化

- ・ 過去の稟議書を探す手間が無くなり効率的になった
- ・ 各種システムから印刷していた事務が無くなった
- ・ 書類ファイリングのスリム化、効率化が図れた
- ・ 金額等の記入、検算が不要となりミスも無くなった

## 審査スピード向上

- ・ 稟議起案から決裁までは想像以上に早い
- ・ 県外店舗でも距離的不便性は感じなくなった
- ・ お客様への回答スピードは格段に向上した

## 情報一元化

- ・ 稟議起案後の進捗確認が容易でストレスが軽減した
- ・ 審査段階で面談情報が確認でき効率的になった
- ・ データが取り出せるので営業店からの月次報告が不要となった

導入効果ユーザ実例

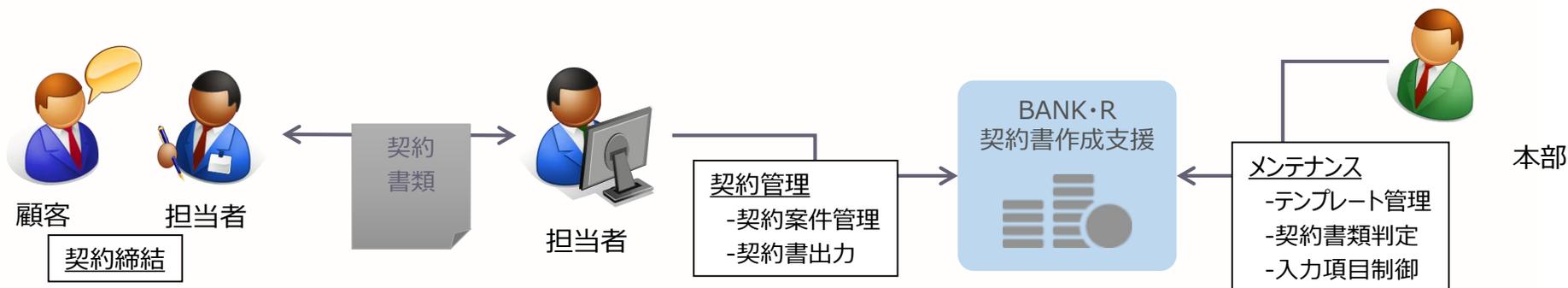
# BANK・Rの主要機能：BANK・R契約書作成（電子稟議のオプション機能）

融資関連の契約書は種類が多く、オペレーショナルリスクが高いといわれています。

BANK・Rには、電子稟議システムで決裁された稟議の内容をもとに、契約書を自動的に印刷できるオプション機能がございます。これにより、契約書締結に係る事務の効率化と堅確化を実現いたします。

## 機能概要

決裁された稟議情報より、顧客と締結が必要となる契約書を自動判定します。また、当機能の画面から補記していただく情報も含めて契約書を印刷することができます。なお、契約書は Microsoft Word で管理しておりますので、貴行にて条文の変更など自由にメンテナンスすることができます。



## BANK・R契約書作成機能の構築による導入効果

- 顧客と締結すべき契約書が自動判定されるため、**契約書締結の準備作業およびチェック作業の負荷を軽減**できます。また、**契約書の締結漏れのリスクも軽減**されます。
- 契約書に印字する情報の多くは、電子稟議システムで保有していることから、データ入力に関わる**二重オペレーションがなくなり、業務負荷の軽減および入力ミス**のリスク軽減を図れます。
- 同一システム内で案件管理から契約書作成までを一気通貫で管理できるため、**オペレーションの簡素化と管理力向上**を実現いたします。

# BANK・Rの主要機能 : BANK・R格付自己査定

## BANK・Rの特長

### 格付制度の高度化

統一された審査基準をシステム内に構築し、恣意的な格付を排除すると共に、格付推移分析の元となる情報を還元できるシステムを構築します。

### 随時査定による自己査定業務のスピードアップ

「随時査定方式」による格付と債務者区分の見直し基準の統一をシステム化により実現し、契機管理・簡易格付・自動分類機能などと併せ、自己査定業務の効率化と分散を図ります。

### 柔軟なモデル対応

BANK・Rは様々なスコアリングモデルに対応することができます。  
例) CRD、RDB、CrediScore、FEG、RADAR、銀行独自人格などに応じた複数モデル対応も実績あり

項目	単位	2014年12月	2015年12月	2016年12月	前年同月比
総資産	千円	6,605	6,004	4,029	▼
総負債	千円	-12,666	-1,300	3,794	▲
純資産	千円	-4,061	-6,304	1,000	▲
総資産総額	千円	2,7	2,7	3,2	▲
総負債総額	千円	1,6	1,7	1,3	▼
純資産総額	千円	2,3	1,2	1,6	▲
総資産総額	千円	4,4	4,4	5,6	▲
総負債総額	千円	4,4	4,4	5,6	▲
純資産総額	千円	4,4	4,4	5,6	▲
総資産総額	千円	272,24	299,00	199,38	▼
総負債総額	千円	131,92	173,11	139,21	▼
純資産総額	千円	321,56	312,01	233,62	▼
総資産総額	千円	12,39	6,93	13,20	▲
総負債総額	千円	98,45	115,11	95,09	▼
純資産総額	千円	26	26	28	▲
総資産総額	千円	1,381,16	1,916,59	2,244,52	▲
総負債総額	千円	-7,15	0,08	3,48	▲
純資産総額	千円	999	999	16,00	▼

## ユーザ事例（近年の動向）

### 簡易格付付与機能

任意の金額バー未満先について、財務スコア等によりシステムにて格付を付与します。作業効率化を図ると共に、小口先に対しても精微な格付管理を実現いたします。

### 個人ローンのみ先自動処理

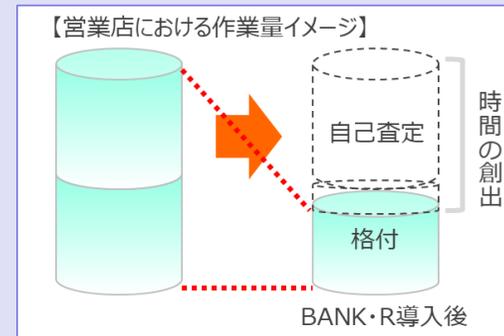
個人ローンのみ先について延滞進捗度および中心先債務者区分に合わせてシステムにて債務者区分の自動判定を行います。

### 店内専決承認

格付ワークフローにおいて回覧を行う際、一定の与信額を下回る先については、本部承認とはせず、店内で決裁します。

### 自己査定の本部集中化による業務効率化

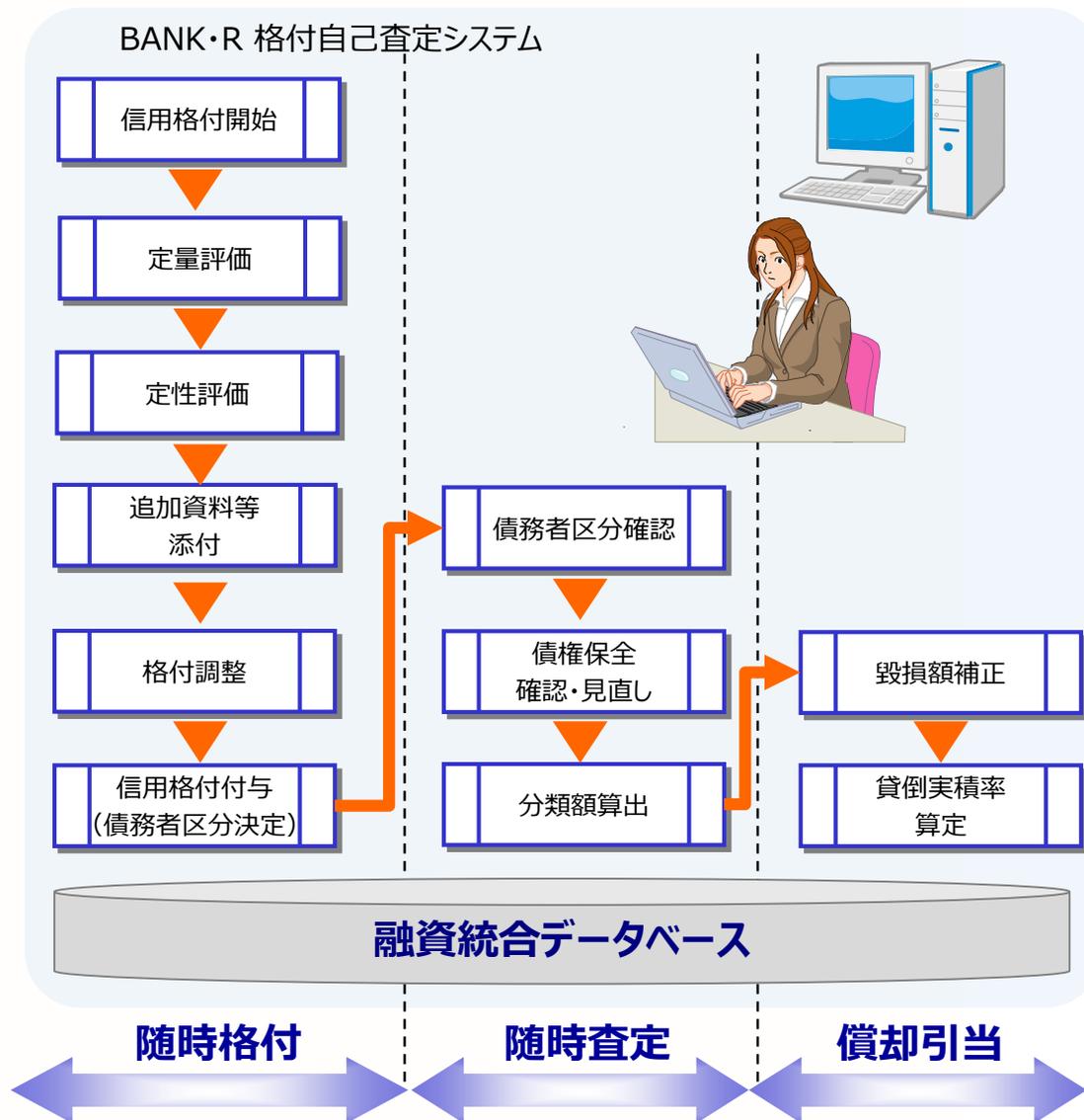
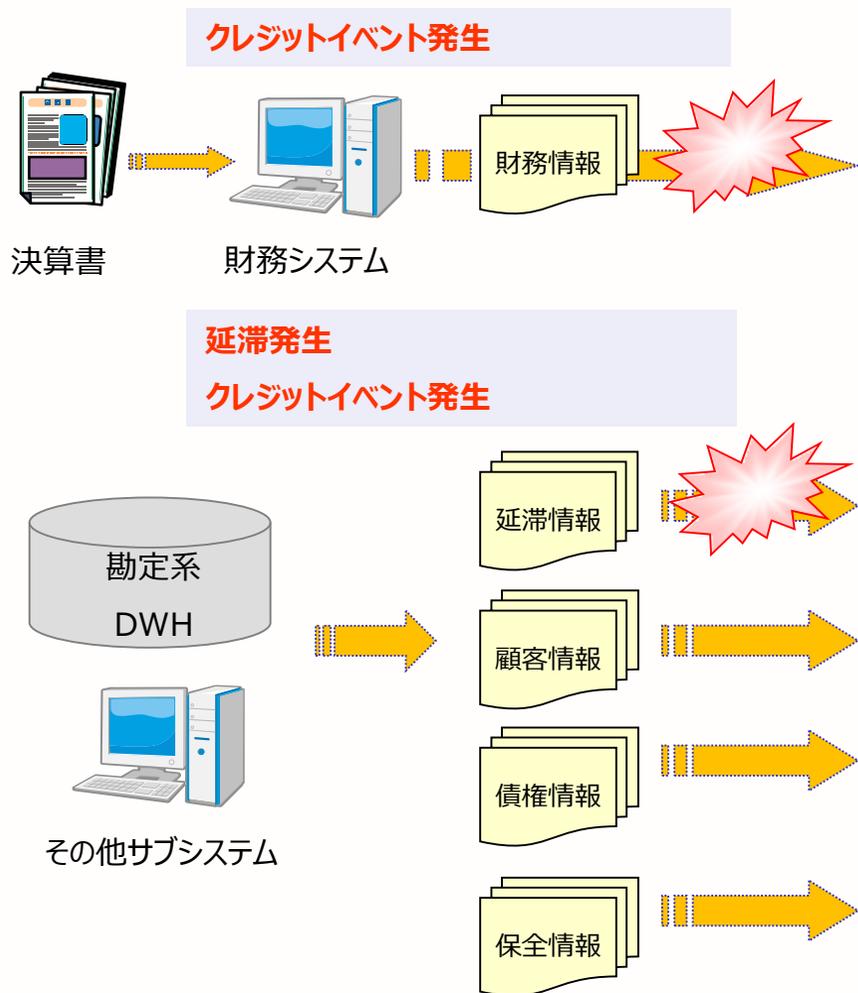
分類額算出業務を本部集中化し業務効率化を実現します。



# BANK・Rの主要機能：BANK・R格付自己査定

全体ワークフローのイメージです。

クレジットイベントをトリガーとして企業審査を行う仕組みです。



# BANK・Rの主要機能：BANK・R償却引当

以下2つの機能から構成されています。

## 貸倒実績率算定機能

### 概要

格付自己査定作業にて蓄積される顧客情報、債務者区分、自己査定結果情報をもとに個別貸倒引当金額、貸倒実績率の算出を行います。貸倒実績率の算出根拠となる毀損額の入力については画面入力のほか、ファイル取込機能を標準で提供しており、部分直接償却額、債権売却金額、自己査定対象外債権情報等を外部ファイルとして取り込むことで、入力業務の削減を図ることができます。また貸倒実績率の算出条件設定とシナリオ機能により、貸倒引当金の予測もサポートいたします。

### 特長

豊富なシミュレーション機能を搭載しています。

例：個別債務者のデフォルト、自己査定確定前の決算予測、将来予測値算出（設定期間による掛目引き延ばし）、算出条件変更（算定期間の変更など）

## 償却引当管理機能

### 概要

自己査定結果情報や、過年度に部分直接償却した債権情報をもとに償却引当処理の対象債務者を漏れなく抽出します。また、抽出された債務者における条項判定、条項にもとづいた償却・引当額の自動算出や、税務申告書類作成をサポートする機能を搭載しています。

### 特長

オフライン債権残高管理、有税・無税判定の条項判定サポート、償却引当額の自動計算、償却額の厳格な管理、疎明資料および情報管理、税務申告書自動作成。

**CONFIDENTIAL**